

第5章 地域公共交通計画

1. 持続可能な地域公共交通に関する基本的な方針

①コンパクトで魅力あるまちづくりと連携した公共交通

日本海国土軸を形成する北陸新幹線福井・敦賀開業を見据えて、並行在来線、福井鉄道福武線、えちぜん鉄道によって形成される鉄道幹線交通と路線バスやコミュニティバス等による二次交通網のネットワーク化を推進します。

堅調に人口が増加してきた本市においても、今後は長期的な人口減少期に入ることが予測されています。

モータリゼーションの進行によって、自家用車の利用を前提とした郊外部での市街化が進んだことで低密度な市街地が拡大し、結果として市街地中心部の人口が減少するとともに、商業機能をはじめ市民の日常生活に必要な都市サービスの郊外化も進み、市街地中心部でのにぎわいの低下を招いてきました。

公共交通においては、過度な車依存による公共交通利用者の減少は、サービス水準の低下につながり、さらなる利用者減少の要因となっています。

このため、まちづくりと公共交通が連携して、主要施設や人口が集積するコンパクトなエリアへの集積を高め、公共交通ネットワークの拡充を図ることで、過度な車依存の交通環境を是正するとともに、まちづくりや中心市街地活性化との一体性を確保し、「コンパクトシティ・プラス・ネットワーク」の実現を目指します。

北陸新幹線開業に伴う新たな交流人口の増加を見込み、本市の観光振興を図るため、公共交通の立場から環境整備に取り組みます。

本市に訪れる観光客やビジネスマンが利用しやすく、分かりやすい情報提供を行うとともに、主要観光施設への利便性の高い移動手段を提供します。

また、本市および隣接市町を含めた広域的な区域を対象に地域の歴史、伝統、産業などの特性を活かした公共交通サービスを提供することで、観光と公共交通の一体性を確保し、観光振興に寄与します。

②人々の生活を支える公共交通

市民生活においては、通勤通学、通院、買い物など多様な目的で移動のニーズがあります。移動目的によって時間も異なれば、目的地も同じではありません。また、天候や季節によっても、その交通手段は大きく変化します。これらの多様な移動ニーズに対応するためには、需要に応じた適切な交通サービスを提供することが重要になります。

鉄道、バス、タクシーの連携を強化するとともに、つつじバスネットワークの再構築により、速達性の向上、通勤通学需要への対応を図り、利用者の意向で選択できる多様な交通サービスを提供します。

さらに、路線バスとコミュニティバスのネットワーク化により、広域性の確保を図ります。

③協働により地域に存続する市民主役の公共交通

現在、本市の交通環境は、自家用車が主体となっており、公共交通はそれを補完する役割を担う形になっています。安心のある生活環境を確保するには、利便性のある公共交通を維持していく必要があります。

これには、公共交通が地域の生活環境を支える重要な資産であることを市民の皆さんが認識し、地域の市民自らが守り、育てていく意識をもつことが重要と考えます。

このため、公共交通の意義や役割について、広く周知、PRするとともに、利用促進に向けた市民団体の活動支援や利用機会の提供を図ります。

また、交通事業者をはじめ公共交通に関わるすべての関係者が連携することによって、公共交通に関する施策・事業の展開を図ります。

2. 地域公共交通計画の区域

計画区域	鯖江市全域
------	-------

本計画の計画区域は、本市全域とします。

さらに、市民の日常の生活行動が市域を越えて広範囲に広がっているため、特に、福井市、越前市、越前町の隣接市町との積極的な連携により、市民の日常生活を支える公共交通環境の向上を目指します。

3. 地域公共交通計画の期間

計画期間	5年間（令和4年度～令和8年度）
------	------------------

本計画の計画期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間とします。

ただし、毎年度に実施する本計画の達成状況の評価に基づく計画の見直しを行うとともに、社会情勢や法制度等の変化に対応するための見直しを適宜行うものとします。

4. 地域公共交通計画の目標

(1) 地域公共交通の将来像

地域公共交通の 将来像	豊かさと安心のある暮らしを支える交通環境
----------------	----------------------

地域公共交通は、日常生活で必要となる通勤通学、通院、買い物等の移動を誰もが快適で安心して行うことができる環境を提供するものです。そのためには、移動の目的にあった時間や目的地に移動できることが重要です。

本市では、限られた財源の中、利便性を考慮した運行経路や時間帯でサービスの提供に努めていますが、運行頻度は低く、サービス水準は高くありません。

そこで、本市では、車がなくても、公共交通を利用して日常生活に必要な移動ができる交通環境として、鉄道や路線バスを利用して市外へ移動することができ、つつじバスを乗り継ぐことで市内の移動ができる交通環境を目指します。

これを実現するため、鉄道とバスが接続し、乗り継ぎができ、日常生活に必要な病院や商業施設等が集積するJR鯖江駅、北鯖江駅、福井鉄道神明駅、嚮陽会館の4箇所を主要乗継拠点として位置づけ、まちづくりと一体となった公共交通のネットワークを形成します。

新しい利用者層を開拓し、積極的な利用を促進するとともに、既存の利用者ニーズに対応する運行により、「豊かさと安心のある暮らしを支える交通環境」を形成します。

(2) 地域公共交通の計画目標

目指すべき将来像の実現に向けて4つの目標を設定し、それぞれについて目安となる指標と目標値を設定するとともに、実施すべき具体的な施策、事業を設定します。

目標 1	多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現
------	----------------------

- ・幹線交通と二次交通網のネットワーク化に向けた福鉄バス、つつじバスの運行経路、時間帯の見直しなどにより、速達性の向上、日常の生活交通に対応する公共交通の実現を目指します。

指 標	現況値	目標値
つつじバス年間利用者数	14.4 万人 (平成 30 年度)	17 万人 (令和 8 年度)
福井鉄道福武線市内駅利用者数	47.4 万人 (平成 30 年度)	50 万人 (令和 8 年度)
利用者一人当たり公的資金投入額	552 円/人 (平成 30 年度)	540 円/人 (令和 8 年度)

※利用者一人当たり公的資金投入額：つつじバスの運行経費における国県補助金と市の負担額をつつじバス年間利用者で除した値

目標 2**まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現**

- ・主要乗継拠点をはじめ主要な駅やバス停での待合環境の整備などの施策により、人口や都市機能の集積を図るための施策と一体的な公共交通の利用環境の向上を図り、まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現を目指します。

指 標	現況値	目標値
公共交通が充実していると 感じている人の割合	58.7% (令和元年度)	80% (令和8年度)
公共交通集落カバー率 (鉄道、路線バス、コミュニティバス)	95% (令和3年度)	97% (令和8年度)

目標 3**観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、
鯖江の魅力を高める公共交通の実現**

- ・はじめて利用する観光・ビジネス客でも気軽に利用できる環境づくりとして、運行経路や運行時刻などの基本情報の分かりやすい提供やレンタサイクル、観光案内、観光コースの整備などにより、観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、本市の魅力を高める公共交通の実現を目指します。

指 標	現況値	目標値
つつじバスポータルサイト (バスどこサービス) アクセス数	15.7 万回 (平成30年度)	16 万回 (令和8年度)

目標 4**市民との協働により、使いやすさを高め、
にぎわいを支える公共交通の実現**

- ・市民による公共交通の利用促進に向けた意識啓発や支援団体の連携、市民等との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現を目指します。

指 標	現況値	目標値
公共交通利用促進のための 市民団体の活動回数	12 回 (平成30年度)	15 回 (令和8年度)

(3) バスネットワークの再編

幹線交通と二次交通の公共交通相互の乗り継ぎができる乗継拠点として引き続き4箇所を位置づけ、福鉄バスによる隣接都市間の連携強化、つつじバス相互の乗継による市域全体への移動サービスの確保、地域公共交通利便増進事業に取り組むことにより、「豊かさと安心のある暮らしを支える交通環境」を目指します。

バスネットワークの再編

乗継拠点の設置

●主要乗継拠点

- ・幹線交通とつつじバス、およびつつじバス間の乗継拠点として、以下の4箇所を位置づけます。

⇒JR鯖江駅、JR北鯖江駅、福井鉄道神明駅、嚮陽会館（福井鉄道西鯖江駅）

つつじバス路線の再編

循環線

●市街地中央部の生活関連施設の利便性向上

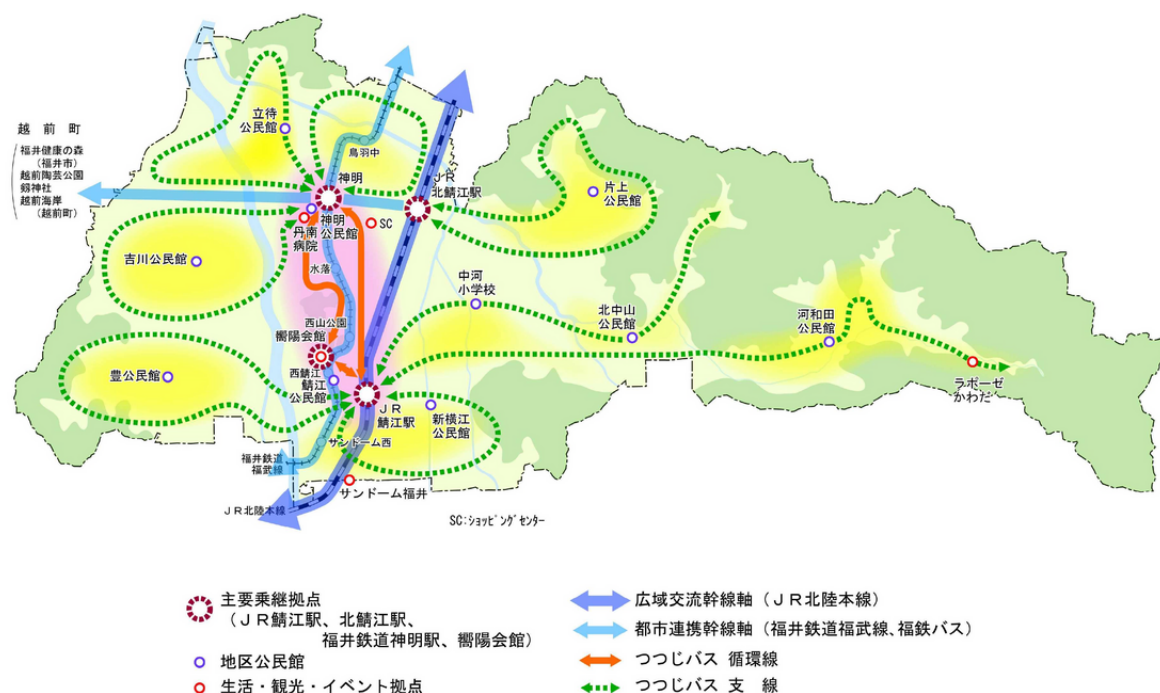
- ・市街地中央部に集積する生活関連施設を高頻度で循環します。

支線

●速達性の向上

●日常の生活交通への対応

- ・通勤通学や通院、買い物等の移動の利便性を改善するため、ルートの効率化による速達性の向上を図ります。



5. 地域公共交通計画の目標を達成するために行う事業およびその実施主体に関する事項

(1) 目標を達成するために行う事業一覧

本計画の目標を達成するために行う事業およびその実施主体は、下表に示すとおりです。

目標 1	多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現	
実施事業	実施主体	備考
(1) 幹線交通の運行 (JR北陸本線(並行在来線)、福井鉄道 福武線、福鉄バス 福浦線、鯖浦線)	JR西日本(株)(福井県並行在来線準備(株))、福井鉄道(株)	—
(2) つつじバスの再編・運行 ※	鯖江市、つつじバス運行事業者	○
(3) つつじバス車両の更新 ※	鯖江市	○
(4) 外出支援等のためのタクシーの運行・助成	鯖江市、タクシー事業者	—
(5) 北陸新幹線へのアクセス手段の検討	鯖江市、越前市、福井県	—
(6) 多様な輸送資源の活用 の検討	鯖江市、交通事業者	○

目標 2	まちづくりと連携し、暮らしやすさを高める公共交通の実現	
実施事業	実施主体	備考
(7) 主要バス停の待合環境の整備	鯖江市	—
(8) 主要乗継拠点でのつつじバス発着情報案内の設置 ※	鯖江市	—
(9) 運行事業の安定化に向けた企業等の推進	鯖江市	—
(10) 障がい者、運転免許自主返納者等へのつつじバス利用者無料証の交付	鯖江市	—
(11) キャッシュレス決済の導入検討	鯖江市、福井県、JR西日本(株)(福井県並行在来線準備(株))、福井鉄道(株)	—
(12) JR鯖江駅東口改札の設置および周辺整備に向けた取り組み	鯖江市、福井県、JR西日本(株)(福井県並行在来線準備(株))	○
(13) つつじバスのフリー乗降制の検討	鯖江市、つつじバス運行事業者	○
(14) パーク＆ライドの利用促進	鯖江市、JR西日本(株)(福井県並行在来線準備(株))、福井鉄道(株)	—

目標 3	観光・ビジネスで訪れた人にもやさしく、鯖江の魅力を高める公共交通の実現
------	-------------------------------------

実 施 事 業	実 施 主 体	備 考
(15) つつじバスのリアルタイム位置情報表示 「バスどこサービス」の継続と利用環境の拡充 ※	鯖江市	—
(16) レンタサイクルの利用啓発	鯖江市、(一社)鯖江観光協会	—
(17) つつじバスの利用料金割引制度 (乗継割引、福井鉄道「プレミア1日フリー乗車券」との 乗継割引、回数券)	鯖江市	—
(18) つつじバスの利用料金割引制度の拡充 ※ (1日フリー乗車券の導入)	鯖江市	○
(19) 商店街との連携によるつつじバス乗車券の交付	鯖江市	—
(20) 観光施設等との連携によるつつじバス乗車券の交付	鯖江市	—
(21) バス車内への観光パンフレットの設置	鯖江市、福井鉄道(株)、つつじバス運行 事業者	—
(22) つつじバス車内を利用した観光案内	鯖江市、つつじバス運行事業者	—
(23) バス停表示看板のデザイン更新 ※	鯖江市	○
(24) SNSを利用した情報発信	鯖江市	○
(25) 公共交通乗務員の接遇向上	交通事業者	—

目標 4	市民との協働により、使いやすさを高め、にぎわいを支える公共交通の実現
------	------------------------------------

実 施 事 業	実 施 主 体	備 考
(26) 公共交通とまちづくりに関する意識啓発と利用促進	市民団体、企業、交通事業者、鯖江市、 福井県	—
(27) つつじバス利用促進	鯖江市	—
(28) 自治会によるつつじバス停留所の上屋の設置・管理と 行政による支援	地域住民、鯖江市	—
(29) 公共交通機関としてのタクシーに関する情報発信	鯖江市、タクシー事業者	—

※地域公共交通利便増進事業に位置づけ実施

○：新規事業
—：継続事業

(2) 目標を達成するために行う事業の具体的な内容

目標 1	多様な移動ニーズに対応する公共交通の実現
------	----------------------

(1) 幹線交通の運行（継続）

（ＪＲ北陸本線、福井鉄道 福武線、福鉄バス 鯖浦線、福浦線）

本市において幹線交通を形成するＪＲ北陸本線、福井鉄道福武線、福鉄バス鯖浦線、福浦線については、市域を越える広域的な公共交通ネットワークとして運行を継続します。

(2) つつじバスの再編・運行（新規）

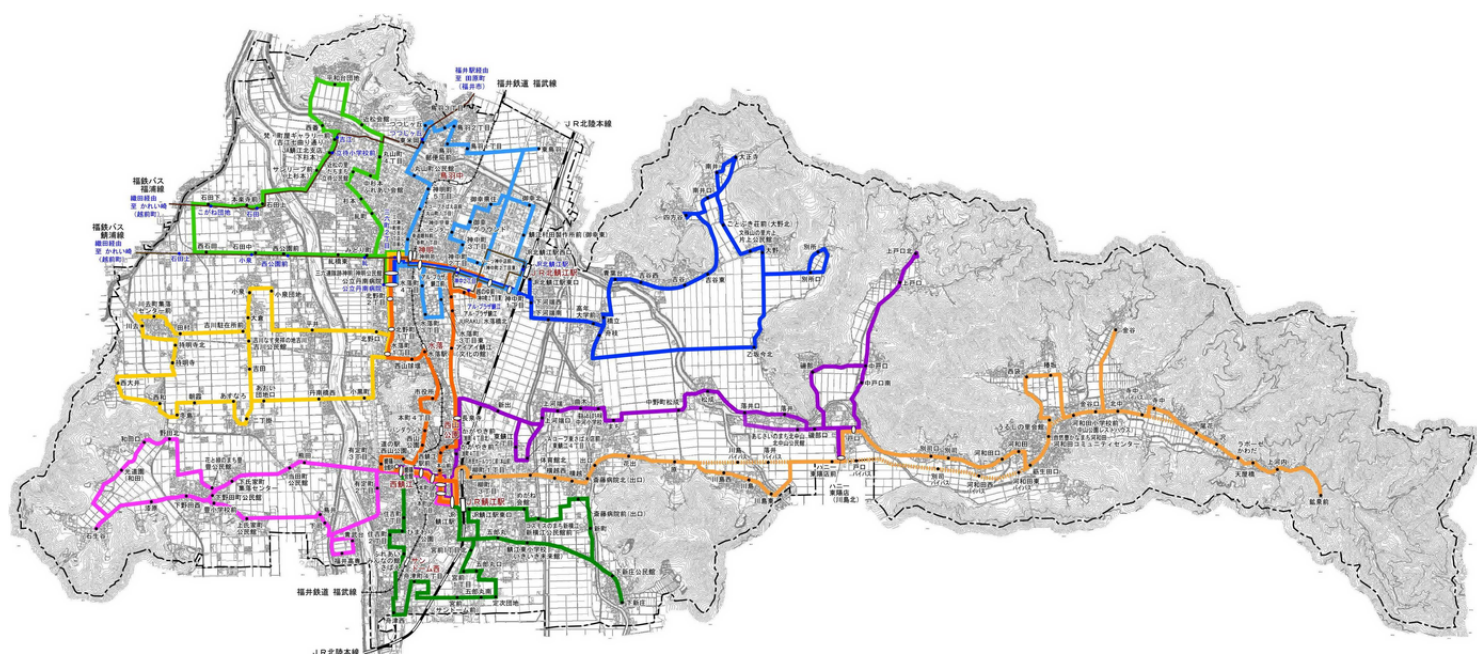
事業内容	車がなくても、公共交通を利用して日常生活に必要な移動ができる「豊かさ と安心のある暮らしを支える」交通環境の実現に向けて、ＪＲ北陸本線、福井 鉄道福武線等によって形成される幹線交通に接続する二次交通網として、鯖江 市内全体をカバーするつつじバスについて、利便性の向上を図るため、つつじ バスを再編します。
実施主体	鯖江市、つつじバス運行事業者
実施期間	令和４年度 ：つつじバスネットワークの再編 令和４年度～ ：運行開始

■つつじバスネットワークの路線構成

区 分	路 線 名	備 考
①循環線	循環線	ルートの一部変更、 バス停の追加(2)、廃止(1)
②支線	鯖江南・新横江線	ルートの一部廃止、 バス停の追加(1)、廃止(4)
	神明線	ルートの一部変更
	片上・中河線	ルートの一部廃止、 バス停の追加(1)、廃止(9)
	立待線	変更なし
	吉川線	ルートの一部廃止、変更、 バス停の追加(6)、廃止(2)
	豊線	ルートの一部廃止・変更、 バス停の追加(1)、廃止(8)
	北中山・中河線	ルートの一部廃止、 バス停の廃止(7)
	河和田線	ルートの一部廃止、 バス停の追加(8)、廃止(2)

※幹線、通学便：廃止

()：個所数



- | | | | |
|---|--|---|--|
| <p><鉄道></p> <p>— JR北陸本線</p> <p>— 福岡鉄道福岡線</p> <p><路線バス 福岡鉄道></p> <p>— 福岡線</p> <p>— 鯖浦線</p> | <p><コミュニティバス つつじバス></p> <p>— 循環線</p> <p>— 鯖江南・新横江線</p> <p>— 神明線</p> <p>— 片上・中河線</p> <p>— 立待線</p> | <p>— 吉川線</p> <p>— 豊線</p> <p>— 北中山・中河線</p> <p>— 河和田線</p> | <p>● つつじバス バス停(単路線)</p> <p>○ つつじバス バス停(複数路線)</p> <p>● 福岡バス バス停</p> <p>— 行政区域</p> |
|---|--|---|--|